

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ガーデンキッズトリア（児童発達支援トリア）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月5日		～ 令和6年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年12月27日		～ 令和7年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの特性等に応じた専門性のある支援や近くの商業施設や公園等、鹿児島市中央エリアの立地を活かした活動を提供しています。	・公認心理師、言語聴覚士、理学療法士等の専門職が巡回し、支援方法や改善事項等など、情報共有や助言をもらうようにしています。 ・定期的に屋外活動（近隣の公園等）を企画しています。公園までの移動を通して、安全な横断方法や交通マナーなど支援者と一緒に経験しながら学ぶことができるようにしています。	・今後もセラピスト（公認心理師・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士）の助言を基に活動プログラムを作成し、子どもたちが楽しみながら専門的な支援が受けられるように支援の質の向上を目指します。
2	・児童発達支援計画に沿った支援が提供できていないかと思えます。	・ミーティングの際に、お子さまのアセスメントや支援方法について打ち合わせを行っています。	・今後も職員間で共通理解し、統一した支援が行えるよう努めます。また複数の職員でアセスメントを行い、お子さまの変化や成長を個別支援計画に反映させていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・経験年数が浅い職員も在籍しており、専門性や支援力については個人差があります。	・適切なアセスメント、発達段階の理解、さまざまなケースに対応するスキル等、専門的な知識の習得や経験を積み重ねる必要があります。	・日々のミーティングでの振り返り、自己研鑽、セラピストからの助言、さまざまなケースに対応する機会等を通して専門性や支援力を高め、職員のスキルアップに繋がるよう、実践を積み重ねます。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のこどもと活動する機会の工夫が必要です。	・関係機関との連携や交流する機会の検討が必要です。	・今後、保育所や認定こども園、幼稚園等との関係構築に努め、交流する機会を検討し、実践します。
3			